



職場での女性の安全を守る

ドメスティック・バイオレンス終結に向けての ソロプチミスト職場キャンペーンー11月25日 説明書

ソロプチミスト職場キャンペーンとは？

「ドメスティック・バイオレンス終結に向けてのソロプチミスト職場キャンペーン」は、めったに取り扱われない家庭内虐待の問題のうち、職場の問題としてのドメスティック・バイオレンスについて、理解を促進するための継続的な活動です。

ドメスティック・バイオレンスは、女性や職場に及ぼす影響のために、職場の問題でもあります。女性は家庭から離れた時でも、虐待から逃れることはできません。虐待の加害者が電話やEメールを使って、職場にいる被害者を悩ませることもよくあります。最悪のシナリオでは、加害者が職場にやって来て女性や同僚を脅かします。さらにドメスティック・バイオレンスは、遅刻や常習欠勤、仕事のムラを引き起こす可能性があります。

職場でドメスティック・バイオレンスを扱う適切なガイドラインがない場合も、ビジネスは損害を受けます。職場での暴力の危険性が増すことに加えて、仕事の能率も犠牲になります。世界銀行の調査によれば、女性が健康上の理由で失った労働日のうち5日に1日は、ドメスティック・バイオレンスが原因によるものです。

これらの損失は、国全体の経済に波及します。ドメスティック・バイオレンスは、保健ケア、警察や裁判費用、仕事の能率低下のために、数百万ドルの損失をもたらします。アメリカ大陸内開発銀行の調査は、カナダで、医療ケアや能率低下などドメスティック・バイオレンスがビジネスに与える損失が年間160億ドルであることを示しました。米国では、年間100億ドルから670億ドルの範囲でドメスティック・バイオレンスから損失が生じていることがわかっています。

「職場キャンペーン」は、被害者が受けることができるサービスへのアクセスを確実にすると同時に、職場で女性の安全を守るために何ができるか、という情報を提供することを目指しています。連盟中のクラブが、ホットライン・カードを給与明細の中に含めたり、女性トイレに置いたりしています。これらは、女性がカードを取りやすいと感じる安全な環境です。職場で女性たちに接触することは重要です。というのは、虐待されている女性は、加害者によって友人や家族から遠ざけられている場合が多いからです。出勤日が虐待の加害者から逃れられる唯一の時間、ということもよくあります。そこは、被害者がどのような支援やサービスを受けられるかを知る唯一の場所かもしれません。また、新しく作成されたカードでは、同僚が職場で女性の安全を確保するためにしてあげられることについての情報も提供しています。

最後になりましたが、ソロプチミストは、管理職、専門職に就いている女性のための組織です。職場に焦点を合わせることは、まさにぴったりです。ソロプチミストは、女性たちに安全と感じ、暴力のない暮らしを送る権利を持つことを教える立場にあります。

毎年、「ドメスティック・バイオレンス終結に向けてのソロプチミスト職場キャンペーン」は、11月25日の「女性に対する暴力撤廃の国際デー」に実施されます。1999年12月の国連総会で、この日が指定されました。国連は、この問題についての一般社会の認識を高めるための活動を組織す

るために、各国政府、国際組織、民間組織を招きました。女性たちは1981年以来、この日に様々なイベントを行なってきました。この日は、1961年、ドミニカ共和国の支配者ラファエル・トルヒジョの命令によって政治活動家のミラバル姉妹が暗殺されたことにちなんでいます。

職場での問題としてのドメスティック・バイオレンスに関する詳細は、www.soroptimist.org で入手できる「ドメスティック・バイオレンス白書」をご覧ください。

11月25日の参加方法 成功への5つのステップ

以下の簡単な5つのステップに従って、職場キャンペーンを成功に導いてください：

ステップ1：「職場で安全を守るホットラインカード」の作成。

SIAは、職場の問題としてのドメスティック・バイオレンスについて、クラブの啓発活動を支援するためにこれらのカードを作成しました。カードは、書き込み可能なPDFファイル形式で、SIAウェブサイトから入手でき、簡単に独自の情報を書き込み、地元の印刷会社やオンライン印刷会社で印刷することができます。以下は、独自の「職場で安全を守るホットラインカード」を作成する手順です。

クラブ名と地域の連絡先情報を加えるには

- SIA ウェブサイトのプログラムセクションにあるカードのPDFファイルを開く
- 小さな白い手のようにみえる「ハンド・ツール」を選択する
- この「ハンド・ツール」を「書き込むためにここをクリック」と書かれたところまで動かす
- カーソルが現れる
- 「書き込むためにここをクリック」という文章を削除し、正しい情報を書き込む
- カードに独自の情報を書き込んだら、保存するためにファイル・メニューから「名前を付けて保存」を選択する

独自のカードを作成したら、そのファイルをCDに保存して、地元の印刷会社にお持ちください。（多くの印刷会社はEメールアドレスを持っており、そのファイルをメールで送信することもできます）あるいは、オンラインの印刷サービスにそのファイルをメール送信しても結構です。大量に印刷する場合には、特にこの方法をお勧めします。印刷方法の詳細は、ウェブサイトにある「職場で安全を守るホットラインカード」印刷の手引きをご覧ください。

ホットラインカードは、SIAから頒布品としても購入できます。カードを注文するには、SIAウェブサイトの[ソロプチミスト・ストア](#)を訪れてください。

ステップ2：カードの配布。職場敷地内にある女性用トイレにカードを置き、可能であれば、従業員の給料袋に封入してください。クラブ会員の職場のトイレ、その他官公庁や公衆トイレを対象にしてください。女性従業員の多い職場が理想的です。ソロプチミスト会員以外で、キャンペーンに加わってくれる人を見つけて下さい。活動に参加する女性を多く見つければ見つけるほど、キャンペーンに参加する会社が増え、究極的にはより多くの女性に援助の手を差し伸べることができます。

ステップ3：理解の促進。クラブでは、ドメスティック・バイオレンスに対する理解促進のために、これ以外の行事を職場キャンペーンの活動に組み入れることもできます。また、クラブが11月25日に参加できない場合には、その日に近い便利な日に行事を計画してください。下記に、過去の職場キャンペーン期間中にソロプチミスト・クラブが実施したプロジェクトの例を挙げておきます：

- ドメスティック・バイオレンス被害者のために「女性に対する暴力撤廃の国際デー」に徹夜のキャンドル・サービスを実施
- 地元の警察官、政治家、保健・福祉の専門家、その他の地域社会の人々を交えた教育セミナーを実施
- 地元のドメスティック・バイオレンス被害者向けのシェルターでボランティア活動。シェルターのための物品収集、募金活動
- 紫色のリボンを配布
- ドメスティック・バイオレンス終結への支援を地方自治体に約束するよう陳情
- ポケットティッシュにホットライン・カードを差し込んで、公共の場でティッシュを配布
- 暴力の被害者のための支援グループを結成
- 地元の図書館や学校で、ドメスティック・バイオレンスに関する情報の展示を実施

ステップ4：あなたの事業所で、ドメスティック・バイオレンスのための指針を採用してください。ウェブサイトの会員エリアのプログラム・セクションから「[ドメスティック・バイオレンス職場規定](#)」をダウンロードしてください。11月25日にこの規定を採用するための努力を始めてください。

ステップ5：報道機関の取材を受ける。キャンペーンに関するクラブの広報活動のやり方については、SIAウェブサイトの会員エリアのプログラム・セクションにある「[ドメスティック・バイオレンス終結に向けてのソロプチミスト職場キャンペーン広報資料](#)」をご覧ください。（英語のみ）

さらにもう一步：他にもできること

前述の通り、職場は、女性を虐待の加害者から離す場所の一つであり、女性が助けや支援を受ける安全な唯一の場所かも知れません。

会員の皆様には、目を開き、耳をそばだて、職場の女性が虐待の被害者であるかも知れない徴候を見つけるようお願いいたします。虐待の徴候には次のようなものがあります： 恐怖感を表したり、内向的になる； 暴行の証拠を示すあざや身体的苦痛がある； 断続的に泣いたり、電話で配偶者・パートナーと話している時に突然怒り出す； 欠勤が常習化する； 能率低下や集中力の欠如。

こういった状況にある女性を助けるためにできることは2つあります。第1に、職場でドメスティック・バイオレンスの被害者を助けるポリシーを運用することです。これらのポリシーには、ドメスティック・バイオレンスを認識し、対処することに関して管理者や雇用者を訓練すること； 医者への予約や裁判所への呼び出しのために、仕事のスケジュールに柔軟性をもたせること； および／または電話やEメールを選び分けること、等を含むことができます。SIAは「[ドメスティック・バイオレンス職場規定](#)」をウェブサイトのプログラムセクションに掲載しています。これは、職場でドメスティック・バイオレンスに関する方針を実行するために必要な情報と説明を、会員とクラブに提供するものです。

被害者と思われる女性に、会員の皆様自身で接触することもできます。あまりよく知らない女性の場合は、親しい関係を築くことを試みましょう。女性に打ち明ける準備ができていない場合は、プライバシーを尊重しましょう。準備ができればいつやっても安全であり、手助けすることを知ら

せましょう。その女性が話したがる場合は、批判せずに耳を傾け、独りではないことと、その女性のせいではないことを、確信させましょう。脅迫のEメールやボイスメールを保存しておくように勧めましょう。女性の電話やEメールを選別したり、終業後は駐車場まで一緒に行きあげると申し出ましょう。さらに、女性が地域のドメスティック・バイオレンス支援機関などの連絡先を確実に持っているようにしましょう。

職場規定を作ること、あるいは個人的に女性を手助けすることに関する詳細情報は、SIA連盟事務局プログラム課 (program@soroptimist.org) にお問い合わせください。